



★東峰学園の「合言葉」★

●あいさつ・そうじ・うたごえ・自学・自立

「おはようございます!!」。毎朝、元気のよいあいさつが校舎に響きます。学校が再開し約1か月。当初は、声も小さく緊張気味の様子に「声が出ていないなあ」と感じていました。そこで、本校の合言葉の一つである「あいさつ」を1か月間呼びかけてきました。今では、ほとんどの子どもが気持ちのよい「あいさつ」を返してくれます。その中で私が一番感心したことは、「一度立ち止まって、お辞儀をしてあいさつする子ども」が大勢いることです。



●「気持ちのよいあいさつをするために」

生徒会では、生徒全員がテーマに沿って意見を考え、集会で学年の代表が発表し交流するという取り組みを行っています。今回のテーマは、「気持ちのよいあいさつをするために」です。一人一人が考える「気持ちのよいあいさつ」についてたくさんの意見が書かれていました。その中で、一人の意見文を紹介します。

気持ちのよいあいさつをするために、自分は、立ち止まって、大きな声ではっきりとあいさつをしていきたいです。大きな声ではっきりと言わないと相手には伝わらないし、立ち止まってあいさつをするともっと気持ちのよいあいさつができると思うからです。(9年生 片岡賢吉さん)

学校では、家庭・地域でもあいさつができる子どもを育てて行きたいと考えています。

★川を汚さないようにしましょう★

●小学部 環境委員会の取り組み

ぼくの家周りにはホタルが飛んでいます。みなさんの家はどうか。ホタルは、「甘い水が好きだ」と言われています。本当でしょうか。
A: 甘い水が好き B: きれいな水が好き
答えは、「Bのきれいな水が好き」です。東峰村にもホタルがいます。川を汚さないようにしましょう。
(環境委員会 5年生 和田伍生さん)

環境委員会が定期的にお昼の放送で「環境」に関するお話をしてくれます。東峰村に生息するホタルのことをきっかけに、川をはじめ故郷東峰村のすばらしい環境を守ろうと呼びかけられました。私たちも今一度東峰村のすばらしい環境を守り育てるための工夫と努力について考えていきたいと思っています。



東峰学園の子どもたち

●心も校舎もピカピカ ~そうじに取り組む姿から~

東峰学園の合言葉の一つに「そうじ」があります。東峰学園の子どもたちは、毎日、一生懸命そうじをします。とても素晴らしいことです。そうじで心もピカピカに!

